

# ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 134

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
(書名の後の( )の数字は請求記号です。)

問) 防空頭巾の作り方について

答) いくつかのことばを組み合わせて検索します。

**全資料** → **防空頭巾 作り方** → 3件

\* 「防空兜」「防空服」等もキーワードになります。

『主婦之友 第28巻第2号』(051/Sh99/28-2 閉架雑誌)

『主婦之友 第28巻第4号』(051/Sh99/28-4 閉架雑誌)

『主婦之友 第28巻第11号』(051/Sh99/28-11 閉架雑誌)

『主婦之友 第29巻第4号』(051/Sh99/29-4 閉架雑誌)

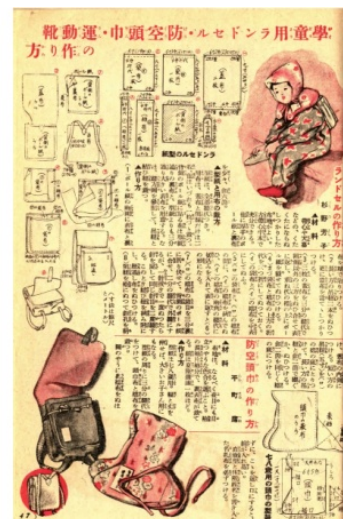
『服装生活 第4巻第1号』(593/F84/4-1 閉架雑誌)

防空頭巾の形は、資料によって様々です。昭和16, 7頃の防空頭巾に比べ、昭和20年頃は綿を厚く入れた上に刺し子にすることを奨励しています。“厚み”に変化があるようです。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



(『主婦之友 29巻4号(昭和20年4月)』)

# 一端午の節句とこいのぼり



風薫る5月。柔らかな日差しの中で花々が彩り始め、新緑が眩しい季節です。

5月といえば端午の節句。菖蒲の節句とも言われます。菖蒲を「尚武(武をとうとぶ)」や「勝負」という言葉にかけて、勇ましい武者人形やよろいかぶとなどを飾り、男の子がたくましく元気で成長していくことを願います。

また、5月の空を気持ちよくおよぐこいのぼりは中国の言い伝えから生まれたもので、江戸時代から立てられるようになりました。「この家の子どもを守ってください」という、神さまへの目印でもあります。



鯉のぼり  
【焦土にも端午の節句】被災で焼けた土地にも、季節は確実にめぐってくる。三人の男の子が立っているのは、防空壕の上だろ  
うか。焼け跡にあげられた鯉のぼりでも、この子たちにと  
っては大変な喜びだった。  
写真・共同通信社

今年には東日本大震災の復興を祈願し、被災地の青森、岩手、宮城、福島各県でも市民らの応援メッセージの入ったこいのぼりが揚げられました。

岩手では住民ががれきの中から探し出したというこいのぼりが飾られ、岩手県山田町の「鯨と海の科学館」では、全国から贈られたこいのぼり約300匹が空に舞い上がりました。

参考資料:『4月30日 読売新聞 夕刊』

『5月5日 読売新聞 朝刊』

←左の写真は今から66年前の昭和20年、焼け跡の中、こいのぼりが吹き上げられ子どもたちの喜んでいる様子が映し出されています。

今も昔も変わらずに、こいのぼりは悠然と風に吹き上げられ、遊泳している光景に、私たちはさまざまな気持ちでそれを眺めます。

『昭和 第7巻 二万日の全記録』(210.7/Ko19/7 開架)より

◎参考文献 『昔の子どものくらし事典』(384.5/H85 開架)

—図書室から—

季節は春から夏へと移りかわっていきます。気温差が激しいので体調管理に気をつけ、爽やかな気持ちで過ごしたいものですね。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 134

2011年5月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1